

「久賀の諸職用具」について

久賀町は、江戸時代以降、周防大島（屋代島）の政治経済の中心として栄え、早くから職人化・商人化が見られ諸職や産業が発達し、その製品とともに関連用具が数多く遺存しており、地域的な職能の様相を示す資料として重要です。久賀町では、昭和47年より東和町出身の民俗学者・宮本常一先生の指導を受け、婦人会、老人クラブなどが中心となって1万5千点以上の民具・民俗資料を収集しました。収集された資料は「暮らす^{くらす}」、「拓く^{ひらく}」、「耕す^{たがやす}」、「漁る^{いさる}」の4つのテーマに分けて資料館に展示しています。

隣接する「久賀の諸職用具収蔵庫」には、重要有形民俗文化財昭和53年(1978年)8月5日（生産、生業）に指定された「久賀の諸職用具」2,707点を収蔵しています。

※ 久賀町、東和町共に、現在は周防大島町

	名	称	員数	名	称	員数	
久賀の諸職用具 (総員数)	石	工	用具	173点	傘・提灯屋製品	8点	
	鍛	冶	屋用具	93点	機	屋用具	280点
	鍛	冶	屋製品	27点	機	屋製品	45点
2,707点	船	大	工用具	812点	紺	屋用具	338点
	桶	屋	用具	289点	紺	屋製品	23点
	桶	屋	製品	29点	醬	油屋用具	254点
	傘・提灯屋用具	291点	瓦	屋用具	45点		

(1) 石工〔石築み〕

当時の石工は農家の閑期利用の副業であった。（正月～5月田植えまで）久賀の石工の発生した時代や築法の伝来系統は不詳であるが、地元の波止づくりは古波止の文政10年がはじめてである。記録としては当時畔頭であった中村家に三田尻塩田の潮留に藩御用を仰せつけられた庄屋に代わって石工を連れておもむいた書状があり、防長風土風土注進案に久賀村の農業外労働収入として、塩浜、九州地方への石築石、船乗、奉公人の稼ぎ銀九三貫八八〇匁とある。農閑期を利用して、北九州、北浦海岸、瀬戸内海岸、美祢山中の護岸、塩留、石垣（棚田）に独特の技法（亀の甲築みのそりをもつ工法）をもって活躍した。久賀の石築みとして県内外に知られていた。明治になって勝坂トンネル（防府―山口）、京都運河の工事に参加している。

(2) 鍛冶屋

久賀には中世の頃よりタタラ（大鍛冶）が行われていたと思われる。鍛冶屋敷（2ヶ所）鋳物師原（1ヶ所）の地名が残っておりコウサイ及び錬鉄板が出土している。防長風土風土注進案には地方7軒とあり、主として鋤、鍬、鎌、釘、船釘など注文に応じて製作された。技法は鍛冶屋の出身地からみて伊予から入ったものと推定される。鍛冶屋の発達は諸職の発達を促す原因（要素）にもなった。

(3) 船大工

浦方を中心とした漁船廻船業の発達により船座（造船所）も発達していった。特に文化年間より遠海漁業が盛んになるにつれ、角島、壱岐、対馬に1本釣り船として進出した。最初は生間の多い内海船であったが、外海の苦い経験をもつ漁人と船大工の創意工夫が一体となって耐浪性に富んだ久賀船（一本釣り久賀型漁船）をつくりあげ、諸国船の中に異彩をはなつた。長崎県巖原町宇浅藻に久賀の枝村が出来ると現地に船座が3軒も進出した。（明治18年頃）

(4) 桶屋

防長風土注進案には地方5軒になっている。当時容器の殆どが桶の類で相当の需要があったものと思われる。家庭用の桶の外に当時地方の伊藤、浦方の河村両氏が酒造業をしており、桶樽の需要を高めたと思われる。明治に入り酒造りも多くなり桶屋の発達をうながした。材料の杉は吉野日向から求めた。竹は京都・日向ものが入ってきた。

(5) 傘・提灯屋

記録的なものがなく、時代と技法は不明であるが、技法は柳井・松山説がある。自村及び隣村からの注文により生産された。材料の竹は京都方面から紙は伊予から入れた。

(6) 機屋

藩政時代の防長風土注進案によると農業外収入の銀596貫匁のうち縞木綿が銀382貫匁でこれは農業外収入の64%強に当たる。当時地方浦方合せて1100軒の者が機を織っており綿織物の重要性を表している。綿織は大島内各村でも行われたが、ほとんど白木綿織で久賀だけが縞木綿を織っている。機織は藩政期は地機(デバタ)であったが明治20年頃高機にかわり、日露戦争のころ西洋から伝った、ボタンを高機にとりつけた早川式高機を作った。織布能率も2倍及至3倍となった。明治40年代になって足踏式について動力機に移った。

当時認め糸の原料の綿は安芸豊後より移入し問屋を通じて各戸で賃織させ製品は大阪方面へ送られた。高機時代になると問屋自体でも織子雇って織った。(工業制手工業)動力機になると家内工業形態は次第に姿を消していった。明治に入って縞木綿織が絹織りにかわったが生産量は微々たるものであった。

(7) 紺屋

久賀の綿織物は縞木綿であった関係上、関連産業として紺屋と油絞りを発達させた。紺屋は天保年間に地方15軒、浦方3軒、計18軒あった。原料の藍は最初の頃は地元の葉藍を使っていたが文政5年に室積に藍座が出来て、一般の藍製造販売が禁じられた。主として阿波藍玉が移入されて使用するようになったので地藍の生産はとまった。紺屋は戦前6軒残っていた。

(8) 醤油屋

久賀村においても他村と同じように明治に至るまで味噌醤油は自家醸造で賄って来たので、企業としては発達しなかった。しかし久賀村には徳川時代末期頃より沢山の醤油杜氏を出している。現在でも県内外に醤油屋や醤油杜氏として活躍している。醤油杜氏は出職として発達したので縁故による弟子入りにはじまった関係上、久賀町でも流田を中心として宗光、新開の隣接部落に醤油杜氏が多く出ている。町内醤油醸造は明治期に開業して升井、鶴田、河村、崎村醤油醸造場があった。

(9) 瓦屋

久賀町に瓦屋が七軒あったが、何れも明治末期に開業したものである。明治後期までは江戸時代に引継いで住居は草屋根であり、瓦葺は珍しかった。明治末頃から次第に草屋根が瓦葺きになるに及んで瓦屋もふえた。地元には瓦の原粘土もなく、下松方面から船便で移入した。技術は佐連から伝えられたもので、富田瓦の末流ということになる。

[石工用具] 173点

番号	名称	点数	説明
1～37	ノミ	37	ヤ穴を掘り、ツラを揃える
38～39	ハッカクノミ	2	ヤ穴を掘る
40～43	ソコタテ	4	ヤ穴の底を深く掘る。
44～45	ナメハリ	2	石目に打ち込んで割る。
46～52	ハツパノミ	7	ハツパ用の穴を深く掘る。
53	アナザラエ	1	穴の中の石くずをかき出す。
54～73	ヤ	20	石を割る。
74～81	ヤ (トビヤ)	8	小さいヤ。
82～85	セリガネ	19	ヤで割る時に、ヤ穴にはさむ。
86～91	セツトウ	6	ノミの頭をたたく。
92～94	ハヅチ	3	石の角を欠ぐ。
95～96	ゲンノウ	2	石を割る。
97	カタメツチ	1	石垣の根張り床をたたいて固める。
98～101	カナテコ	4	重い石を動かす。
102～107	フンツキ	6	石を動かす時にこねる。
108	フンツギのサキガネ(ツメ)	1	〃
109	フンツギのワガネ	1	〃
110～113	ツルハシ	4	土や石をおこす。
114～115	ファイゴ (タタラ)	2	石工道具の修理用具。
116	カナトコ (カナシキ)	1	ノミやカナテコの打ち直し焼き入れ用具。
117	カナヅチ	1	石工道具の修理用具。
118	アナヌキガネ	1	折損じた柄を柄元からはずす。
119～129	イシワ	11	大石の運搬用具。
130～133	イシツモッコ	4	小石の運搬用具。
134～142	ツチモッコウ	9	土を運ぶ。
143	セミ	1	石を吊り上げる。
144	カッシャ	1	石を巻き揚げたり、引っぱったりする。
145	ワラヅナ	1	滑車の引き綱。
146	オヅナ	1	重い石を滑車で引き上げる綱。
147	クサリ	1	石を運ぶ。
148	オオコ	1	石モッコウ、イシワを担う。
149～153	テボ	5	石工用具の小物入れ。
154	アミブクロ (アミテボ)	1	〃
155	ハギブクロ (フクロ)	1	弁当入れ。
156	ザツノウ	1	石工の小物入れ。
157	ワラジ	1	旅に出るとき履く。
158	ベントウゴウリ	1	仕事用。

[鍛冶屋用具] 93点

番号	名称	点数	説明
1	カタツチ	1	カネを打つ。
2～3	ツチモッコウ	2	カネを打つ。
4	カタデツチ	1	小物を打つ。
5～6	ムコウツチ	2	鍛造。
7～12	トギリヒバシ	6	くわのヒツ作り等。
13～18	エゴミのヒバシ	6	鍬のワガネ打ち等。
19～20	ハモノ用ヒバシ	2	刃物を打つ。
21～23	ヨコグイ	3	石工のゲンノウ作りやノミ打ち。
24	チョウナ用ヒバシ	1	手斧作り。
25	テイテツウチバサミ	1	テイテツ作り。
26	エゴミ用、ヒツ用ツチ	1	鍬のヒツを打つ。
27	カクベシ	1	〃
28	メントリ	1	穴のメンをとる。
29	ログイ用メントリ	1	メンを作る。
30～31	マルベシ	2	円柱形に仕上げる。
32～43	セットウ用メウチ	12	石工のヒツを作る。
44～48	クワ用メウチ	5	鍬のヒツ作り。
49～50	バチ用メウチ	2	バチ鍬のヒツ作り。
51	ゲンノウ用メウチ	1	ゲンノウヒツ作り。
52～58	マルポンチ	7	鉄材に穴をあける。
59～61	カクポンチ	3	〃
62～67	タガネ	6	カネを切断する。
68	ビシャ用タガネ	1	石工ビシャの目切に使う。
69～70	ロツカクポンチ	2	六角の穴をあける。
71	グルリマキ	1	ワガネを打つ。
72～73	カナトコ (カナシキ)	2	ヒラモノ、輪などを打つ。
74	トリウチ	1	輪も打てる用具。
75～76	セン	2	カネを削る。
77	カマロ	1	炉
78～80	ファイゴ	3	ふいご
81	ファイゴのトコセン	1	ふいご
82	ホグチ	1	
83～84	トブネ	2	焼き入れ。
85	アブラバコ	1	〃
86	スミバコ	1	ふいごの炭入れ。
87	カキダシ	1	灰をひき出す。

番号	名称	点数	説明
88	シャク	1	焼入れの水かけ。
89～90	ハイカキ	2	炉の灰かき。
91～93	ソコツキ	3	炉の中の燃えかすをこわす。

[鍛冶屋製品] 27点

番号	名称	点数	説明
1	オシギリ	1	
2	キガマ	1	
3	ナタ	1	
4	デバボウチョウ	1	
5	ダッコクキのオオイノカネ	1	
6～7	マグワのツメ	2	
8～10	バチ	3	バチ鍬
11	フログワのトコガネ	1	
12～13	カナグイ	2	稲の掛け干し。
14	キマワシ	1	木材を動かす。
15	メハリ	1	伐採のくさび。
16	カン	1	木材ひき。
17	カン (ワガネ)	1	荷車のかん。
18	シヤコ	1	馬鍬の部品
19	テカギ	1	
20～26	テイテツ	7	
27	イノコイシのワガネ	1	

[船大工用具] 812点

番号	名称	点数	説明
1～10	コビキノコ	10	日向杉をひく。原木を板にひく。
11～22	ザンギリノコ	12	角物・板物をひく。
23	オオザンギリノコ	1	角物をひく。
24～25	トンギリノコ	2	丸い穴を切とる。
26～32	トンギリノコ (ヒキマワシノコ)	9	丸く切りとる。
33～38	アナヒキノコ	6	板の合わせ目をそろえる。
39～46	コワリノコ	8	船材をヨコビキする。厚い板をタテビキする。
47	オオコワリノコ	1	厚板をタテビキする。
48～52	リョウバノコ	5	タテビキ、ヨコビキ。
53～56	スリノコ	4	板を合わせるタテビキ。
57～59	ヨコノコ	3	ヨコビキノコ。
60	シャクリノコ	1	角に切りこみ。
61	イトヒキノコ	1	板を丸く切りぬく。
62	ミシンノコ	1	〃
63	ドウツキノコ	1	戸、窓を作る。
64	カナキリノコ	1	
65～66	ノコのメタテダイ	2	
67	ノコダイ (イタバサミ)	1	板をはさむ。
68～69	キヤスリ (木工用)	2	フシ穴仕上げ。
70	ヤスリ (金工用)	1	
71～81	ヤスリ (スリコミヤスリ)	12	ノコギリ目立て
82	(アブラメ)	1	ヨコビキノコの目立て。
83	ハクミ	1	ノコギリの歯の調整。
84	ハクミダイ	1	ノコギリの歯組み。
85～86	アラガンナ	2	荒削り。
87	ヒラガンナ (アラガンナ)	1	平らに削る。
88～90	ヒラガンナ	3	〃
91～92	ヒラガンナ (シアゲガンナ)	2	仕上げ。
93	シアゲガンナ	1	〃
94～95	トコガンナ (六分、七分)	2	丸底の溝切り
96～98	ナガダイガンナ	3	長い物を削る。
99～100	ダイナオシガンナ	2	カンナ台のツラをなおす。
101～108	ヒガンナ	8	ヒを彫る。
109	ヒガンナの刃 (ミゾガンナ)	1	船材にヒをあける。
110～112	ワキドリガンナ	3	ヒのワキを削る。
113～115	ジャバラガンナ (メンガンナ)	3	化粧面取り。

番号	名称	点数	説明
116	ソトマルガンナ	1	角を丸く削る。
117	エナガマルガンナ	1	円筒形の中を削る。
118～119	ソリダイガンナ	2	丸底を削る、円曲面を削る。
120	マルガンナ	1	丸底のミゾを削る。
121～123	キボートガンナ	3	木ボートを削る。
124～127	ケビキ (キワリ)	4	印をつける。
128	ニチョウケビキ	1	二通りの印をつける。
129	ハッカクケビキ (ヒキワリ)	1	八通りの印をつける。
130	モトヒチ (モトイチ)	1	ヒを彫る。
131～133	イタジャクリ	3	板戸のミゾ作り。
134～137	ガラスジャクリ	4	ガラス用ミゾ作り。
138	アイジャクリ	1	外板を接ぐ面取り。
139	アイジャクリ	1	アリ (ひミゾ) 作り。
140～155	タタキノミ	16	溝穴ざらえ、溝穴ほり、ホゾ穴ほり。
156～159	ダキキリノミ (モルハン)	4	クギ穴あけ、クギを切る。
160～166	マキハダウチノミ (ホウコンノミ)	7	マキハダ打ちこみ、マキハダ打ちのならし。
167～169	ツキノミ	3	仕上げ。
170	マルノミ	1	丸い穴あけ。
171～199	ボートギリ	29	ボートキリ
200～203	ハンドル用ボートギリ	4	穴あけハンドル付き。
204	ギムネ (ムナボール)	1	ハンドル
205	ツボギリ	1	スミを打つ。
206	ヨツメギリ	1	小穴をあける。
207	マルギリ	1	〃
208～211	マエアナクギサシ	4	マエ穴をほる。
212～213	サキアナクギサシ	2	二枚の板をつづるクギアナミチをほる。
214～233	クギサシ	20	クギ穴をほる。
234～237	スクイゴ	4	新旧の板をはぐ時クギ穴をあける。
238	ナラシ	1	マキハダの面をならす。
239～243	カナヅチ	5	ツツミクギを打ち込む、ノミ、フナクギ、ボートを打つ、船の建具作り。
244～245	ホウコンヅチ	2	マキハダ打ち。
246	マキハダ (ホウコン)	1	すきまにうめる。
247	マキハダウチ	1	マキハダを入れる。
248	ハサミ (マキハダバサミ)	1	マキハダを切る。
249～250	カグリダシ	2	古いマキハダをほり出す。
251～252	マキハダケズリガマ	2	マキハダをはぐ。
253	マエジョウノ (マエガンナ)	1	太物の荒削り。

番号	名称	点数	説明
254	マエジョウノの柄	1	原材荒削り。
255～258	ナタ	4	船材の荒削り。
259～261	チョウナ (サメジョウノ)	3	角物荒削り。
262	カドショウギ (トメガタ)	1	船材を45度に切る。
263	カドジョウギ90度	1	船材の木取り。
264	ジョウギ45度	1	〃
265	ジョウギ (40℃、45℃、120℃、150℃)	1	〃
266	サシガネ	1	角度の割り出し。
267～268	カサネガネ、サシガネ	2	折りたたみ式、米国製
269	スミツボ (瓢箪型)	1	印をつける。
270	スミツボ (角型)	1	〃
271	スミサシ	1	〃
272	スミツボとスミサシ	2	〃
273	カケヤ	1	龍骨をしめる。
274～275	カケヤ	2	〃、用材の組み合わせ。
276～277	キマワシ	2	原木移動。
278～279	ヒキダシ	2	板を曲げる。
280	キボートの原型	1	見本
281	キボートの型	2	
282～283	キボート	3	外板を龍骨につける。
284～291	ボートル	8	龍骨をとりつける。
292	イタボートル	1	船のケタドメ
293～296	ボートウ	4	鉄製
297～313	トオリクギ	136	ナカダナ、カワラをとりつける。
314～327	ヌイクギ	14	力の加わる部分に打ちこむ。
328～347	カイオリクギ	220	デッキに使う。
348～349	ツツミクギ (二寸)	12	船の大腹に板を打つ。
350～352	クギシメ	3	フナクギシメ
353	タック	1	外板を龍骨に取りつける。
354	タックジメ	1	タックを打ちこむ。
355	クイキリ (クギキリ)	1	打った小釘を切る。
356～359	トッカン	4	綱を結ぶ、ロヅナ、トモヅナどめ
360	マルカス	1	船板の原板をひく。
361～363	クギヌキ	3	釘を抜く。
364～369	クギヌキ (パール)	6	英国製。
370～374	カスガイ	5	つなぐ、二枚の板をとめる。
375～378	ワカスガイ	4	広い板、外板をはぐ。

番号	名称	点数	説明
379	ポンチ	1	釘板を埋めこむ。
380	タガネ	1	古釘を切る。
381	カナベラ	1	ホウコンを入れる。
382	ヘラ (ホウコンベラ)	1	マキハダの表皮を削る。
383	ネジマワシ (ドライバー)	1	ネジクギをネジこむ。
384～388	ナンバ	7	帆綱を止める、原木のつりあげ。
389～390	ナンバ、セミ	2	帆の上げ下げ。
391～402	一マイカッシャ (一マイブロック)	12	船を船台にあげる、帆あげ、帆げたつり、伝馬船まきあげ。
403～413	二マイカッシャ (二マイブロック)	11	船を上げる、帆を上げる。
414～415	シャックル	2	船を上げ下げする。
416	シャコ	1	ワカスガイのとめがね
417～418	ロクロ (カグラサン)	2	船をおかに上げる、カグラサンのツナまき。
419～421	トロッコのコロ	3	トロッコの車輪。
422	ハンドル (ロクロの把手)	1	綱の捲き取り。
423	マキトリのハンドル	1	船の船定綱をまく。
424	ワラヅナ	1	船のハリヅナ
425	アサヅナ	1	ハリヅナ、モヤヅナ
426～427	オヅナ (アサヅナ)	2	船の上げおろし。
428	ツブ (シュロヅナ)	1	ハリヅナ、モヤヅナ
429	ウムシバコ	1	外板曲げ。
430～432	マンリキ	3	船材曲げ、板をはぐ。
433	マンリキのアシ	1	〃
434	アナホリ	1	砂浜に柱穴をほる。
435	タチボウチョウ	1	帆布をたつ。
436	カキオトシ	1	船底のフシウボ取り。
437	カギ	1	帆ぬいの糸しめ
438	カギザオのカギ	1	サオの先につける。
439～440	イケマのセンガタ	2	
441	マドワクのカネ	1	船窓
442	ログイ	1	ろの支点
443～449	ドウグバコ	7	道具入れ
450	アラト	1	刃物をとぐ。
451	ジイタ (ツイタ) 漁船	1	広島音戸
452	〃 久賀型漁船	1	久賀型漁船
453	ジイタ (ツイタ) 三浦、村岡船	1	東和町森野、久賀、前島
454	〃 山本船	1	大畠遠崎
455	〃 田坂、升田船	1	〃

番号	名称	点数	説明
456	川下船	1	広島音戸
457	岩田船	1	大島遠崎
458	木田船、若○船	1	大島沖○○
459	古本船	1	広島、音戸、早瀬
460	久賀機械船	1	久賀港町
461	機帆船	1	
462	藤丸廻船	1	久賀古町
463	帆船	1	
464	漁船	1	大島遠崎
465	村田船、八木船	1	橘、浮島、岩国、黒島
466	久保船	1	橘、日良居
467	オオダマサマの木型	1	
468～470	フナダマサ	3	
471～474	オフダ金刀比羅宮	4	
475	カンバン伊東造船所	1	

[桶屋用具] 289点

番号	名称	点数	説明
1～2	マエジョウノ	2	桶の底板をうすく削るする。
3～4	シゴワリナタ	2	クラ、ソコイタ、カガミを丸くはつる。
5～6	ノコ	2	板物を切る、タテビキ、ヨコビキ。
7	ドウツキノコ	1	タテビキ
8	ザンギリノコ	1	原木切り。
9	タケヒキノコ	1	竹を切る
10	オリタタミタケビキノコ	1	〃
11	リョウバノコ	1	タテビキ、ヨコビキ。
12～17	ヒキマワシノコ	6	底、カガミを丸くひく。
18～23	ウチゼン	6	クレの内側削り。
24～29	ソトゼン	6	クレの外側削り。
30～34	マエガンナ	5	〃
35	ショウジキ用カンナ	1	クレの側面を削る。
36	ツツマクリ	1	押して削る。
37～46	マルガンナ	10	クレの内側を削る。
47～50	ヒラガンナ	4	底、蓋を削る。
51～52	シャクリガンナ	2	底をはめるヒを削る。
53～54	ヒガンナ	2	底をはめるヒを削る。
55～57	ツツマクリ	3	押して削る。
58～59	ショウジキ	2	クレを動かして削る。
60～61	ショウジキバ	2	〃 (刃)
62～63	アリキリ	2	クレの内側に印をつける。
64～65	フシザラエ	2	フシアナをさらえる。
66～71	エリギリ	6	底の座をならす。
72～77	ポートギリ	6	
78	アナサラエギリ	1	
79～80	四ツ目錐	2	竹釘の穴掘り。
81～84	タブソギリ (五升、一斗、二斗、四斗樽用)	4	タブソ穴をあける。
85～86	フシモミ(フシギリ)	2	センをさす穴をあける。
87～88	ウチギリ	2	竹の目釘の穴あけ。
89～90	四ツ目ギリ	2	底、カガミ板の目釘穴あけ。
91	ツボギリ	1	大きい穴あけ。
92～93	ミツメギリ	2	カガミの穴あけ。
94	〃 (ハンドルツキ)	1	セン穴あけ。
95～96	ナタ	2	クレわり、竹わり。

番号	名称	点数	説明
97	タケケズリ	1	輪にする竹の面取り。
98～99	タケワリ(ジュウジ)	2	竹の四ツ割用。
100	六ツワリヨウタケワリ	1	竹の六ツ割用。
101～102	タケガマ	2	竹を割る、削る。
103	タケケズリ	1	ワの外側削り。
104	コガタナ	1	細工用。
105	コガタナ(長柄付き)	1	〃
106	マルノミ	1	内側を削る。
107～108	サカメのタタキ	2	サカメをたたく。
109～112	ツチ	4	ふたを打ち込む、四斗樽の輪じめ。
113～114	ツチ(四斗樽用)	2	輪じめ。
115	キワリツチ	1	樽材作り。
116	カナツチ	1	釘を打つ。
117	シメツチ	1	底、フタを張り合わす。
118～119	ワジメツチ	2	輪じめ。
120	フタのメオクリツチ	1	ふたをはぐ。
121～122	コットイ	2	竹の輪を組む。
123～128	六尺用ヘラ	6	輪を入れる。
129	六尺ベラ(コットイ)	1	〃
130	四斗樽用ウチベラ	1	〃
131	カナベラ	1	カナワを入れる。
132～133	カジキ	2	輪を入れる時当ててたたく。
134～145	シメギ	12	〃
146～147	ムネアテ	2	クレを当てて胸でおさえる。
148	作業用コシカケダル	1	
149	クレノケズリダイ	1	クレの長さを合せる。
150～151	オケダイ(シゴトダイ)	2	樽作りの仕事台。
152	ケツリダイ	1	削る時、側板を固定する。
153	ミツメギリのムネアテ	1	
154	メクギボウ	1	目釘の位置を定める。
155～158	タチボウ	4	二斗、三斗、三斗七升、四斗、四斗五升の深さをきめる。
159	一斗のトリクミボウ	1	深さをはかる。
160	二斗の 〃	1	〃
161	二升樽の 〃	1	〃

番号	名称	点数	説明
162	三升の //	1	//
163	五升、三升、二升用 //	1	//
164	八寸外ジョウギ	1	クレの外側をきめる。
165	八升桶の内ジョウギ	1	クレの内側をきめる。
166	八寸桶のジョウギ	1	内型をきめる。
167	二尺四寸ソトジョウギ	1	外側をきめる。
168	二尺五寸ソトジョウギ	1	//
169	二尺八寸ソトジョウギ	1	//
170	三尺六寸外ジョウギ	1	//
171	三尺六寸底ツキジョウギ	1	//
172	五尺八寸の内ジョウギ	1	内側をきめる。
173	六尺外ジョウギ	1	外側をきめる。
174	九寸外ジョウギ	1	//
175	メクギボウ	1	目釘穴をきめる。
176～177	タル用カタガネ	2	外ワクをきめる。
178～179	ハンダルのタルのワ	2	タガの見本
180～183	ヒトダルのワガタ	4	輪の大きさをきめる。
184～185	タル用カタガネ	2	四斗五升樽用外側の円をきめる。
186	一斗樽用カタガネ	3	ワガネ
187	五斗樽のカタガネ	5	カタガネ
188～189	ヒトダル(半樽)のダブソのセン	6	
190～192	タブソのセン	3	六尺桶、四斗樽用
193	タブソのセンアナミガキ	1	セン穴をみがく。
194	六尺桶のタブソ	1	セン付き。
195～196	一斗樽のタブソ	5	//
197～199	四斗樽のタブソ	4	//
200	五升樽のタブソ	2	//
201	六尺桶のタブソ	1	調整つき
202～204	セン	3	切断して作る。
205	ヒトダル(半樽)の上ブダのセン	5	//
206	一斗樽用フキツツ	2	樽の空気のもれを調べる。
207～208	四斗樽用フキツツ	3	//
209	五升樽用フキツツ	2	//

番号	名称	点数	説明
210	一斗樽のフタイタ	2	鏡板。
211～212	四斗樽のフタ	2	
213～214	四斗樽の底板	2	
215～216	センヌキ	2	樽のセンヌキ。
217～218	ブンマワシ(コンパス)	2	フタ、カガミをきめる。
219	モノサシ	1	二尺ザシ。
220～221	ハケ(刷毛)	2	商標を作る。
222～226	ヤスリ	5	ノコ、キリの目立。
227	クギヌキ	1	竹釘ぬき。
228	ハクミ	1	ノコの歯の調整。
229	カナバン	1	カナをとぐ。
230	カスガイ	1	輪をしめる時底にうつ。
231	アラト(トイシ)	1	刃物をとぐ。
232	アラト(トイシ)	1	刃物をとぐ。
233	道具箱	1	
234	ドウゴモ	1	樽にまいて送る。
235	六尺桶の簧	1	組立てる時の雨、日よけ。
236	コッピン	1	領収書用。
237～241	ボタンバケ	5	商標をする時こする。
242～243	スプン皿	2	染料の皿。
244～247	記号印(イ、ロ、ハ、ホ)	4	横に押す。
248	符丁印 極	1	二番。
249	〃 天	1	三番。
250	〃 品	1	四番、普通品。
251	〃 撰	1	最上品、
252～266	商標印	15	東屋醸、清酒、有効賞、商標、登録、酒樽製造共同販売ほか。

[桶屋製品] 29点

番号	名称	点数	説明
1～6	手桶	6	酒の仕込み場の桶、穀物をうつす。
7～13	手桶(水汲み桶)	7	水汲み。
14～21	味噌桶	8	
22	ツルベ	1	水を汲む。
23	ツルベオケ	1	〃
24	一斗樽	1	醤油樽。

番号	名称	点数	説明
25	チョウダライ	1	顔を洗う。
26	タライ	1	
27	洗い桶 (ハンギク)	1	米を研ぐ。
28	牛の桶	1	牛の飼葉桶。
29	オリクミツツ	1	醗酵検出。

[傘・提灯屋用具] 291点

番号	名称	点数	説明
1～3	フシトリガンナ	3	傘の親骨のふし削り。
4	フリトリ刀	1	傘元竹のふちとり。
5	クリコミガンナ	1	傘ろくろの内側削り。
6～8	ロクロギリ	3	〃
9～10	キリ	2	傘提灯の竹あけ、傘の小骨の穴あけ。
11～12	アツガマ (タゲガマ)	2	傘の柄竹ふしさらえ、提灯のヒゴ作り。
13	タケビキノコ	1	竹を切る。
14～15	カミキリ用カミソリ	2	傘の紙切り、同ばり。
16～19	カミキリホイチョウ	4	傘の天井紙切り。
20～21	ニギリバサミ	2	傘提灯の紙、糸切り。
22	トウバサミ	1	紙を切る。
23～25	ブンマワシ	3	傘提灯の紋書き。
26	ブンマワシの小筆	1	傘の円を書く。
27～33	ハサミ (シゴキバサミ)	7	傘紙の折り目付け。
34	ハサミ	2	傘提灯の糸どり。
35～37	提灯のカタイタ尺四寸	3	
38	大提灯のカタイタ尺六寸	1	
39	赤提灯のカタイタ	1	1組12枚の内の3枚
40	ワガネ	18	傘の形をきめる。
41	ワガネ (カナワ)	31	〃
42	フルイ (トオシ)	1	傘提灯のノリをおろす。
43～44	スルバチ	2	傘提灯の染料塗り。
45	スリバチ	1	傘提灯のノリをする。
46	スリコギ	1	〃
47	コネバチ	1	ノリねり。
48	センリョウ用サラ (カガツ)	1	傘の染料皿。
49	センリョウザラ	1	傘提灯用。
50	センリョウチャワンとスリコギ	2	提灯用。
51	ネリバチ	1	傘提灯染料用。
52～53	カタクチ	2	〃 染料をとく。
54～55	ノリバコ	2	ノリねり。
56	ノリダイ	1	〃
57	ノリバケ	1	傘提灯のノリづけ。
58	フチトリバケ	1	傘のふちどりを塗る。
59～60	ドウバリバケ	2	傘提灯の胴張り。
61～63	ウルシベラ	3	傘提灯の漆塗り。

番号	名称	点数	説明
64	ウルシバケ	1	傘提灯の漆塗り。
65	シアゲミガキ	1	傘紙の艶出し。
66	大筆	1	傘提灯の大文字書き。
67～71	中筆	5	傘提灯の文字図書き、中文字書き、朱書き。
72	小筆 (ペンキ文字筆 1号)	1	傘提灯の紋線書き。
73～74	小筆	2	提灯の紋書き。
75	スズリバコ	1	紋書きの下書き。
76	モノサシ (折差)	1	傘提灯の寸法出し。
77	カサのフチガミ	37	傘。
78	カサガミ	4	〃
79	フチバリ紙	1	〃
80～82	ロクロ	111	〃
83	提灯の輪の内板	1	提灯。
84	提灯のヒゴ	6把	〃
85	人力車弓	1	〃
86～87	長弓	2	〃
88	傘の柄竹	2	傘。
89	カサカゴ	1	傘を運ぶ。

[傘・提灯屋製品] 8点

番号	名称	点数	説明
1～2	バンガサ (番傘)	2	子供用
3	蛇目傘	1	
4～7	提灯箱	4	丸に中落ひし、小丸提灯入り丸にミツ柏、丸にツタ、丸にミツ寄ツタ。
8	大提灯箱	1	

[機屋用具] 280点

番号	名称	点数	説明
1	ワタクリキ (サネクリ)	1	種子を抜き取る。
2	ワタカゴ	1	綿花を入れる。
3	ワタウチ用カイコカゴ	1	中で綿を打つ。
4~23	イトグルマ	20	糸を紡ぐ。
24~25	テグリ (カエグリ)	2	糸ワクに取る。
26~60	ザグリ (キカイグリ)	35	〃
61~65	カセグリ	5	糸を束ねる。
66~75	カセグリ (トケイ)	10	糸を束ねる。
76~78	カセグリ (トンボ)	3	イトワクに巻きとる。
79	分銅付きカセワク	1	〃
80~81	カセワク	2	〃
82~107	イトワク	120	カセイトを巻く。
108	イトマキ	2	カセワクの糸をまきとる。
109~112	ヘエ台	4	糸をヘエる。
113~114	クダタテ	8	ツムをさし糸わくにまく。
115	ヘエガネ	13	経糸を整える。
116	木綿糸	1	白木綿。
117~118	タカハタ	2	木綿織。
118	ゲンリョウバタ	1	唐草織。
120	バツタン (ワク)	1	高機のヒ。
121~122	サヤ	2	〃 サヤ。
123	バツタン	1	〃
124~130	カケソ	7	高機の経糸をとおす。
131~135	オサザオ	5括	糸口をしわける。
136	オサ	1	経糸の調整、打込み。
137~138	オサのワク	2	櫛目の部分をはめる枠。
139	オサとオサ箱	8	経糸の調整、打込み。
140	オサとオサのワク	1	〃
141~150	ヒ	14	経糸の間に糸を通す。
151	シンシ (スイシ)	4	布口を張る。
152	二尺ザシ (鯨尺)	1	
153	織布の経糸	1	見本

[機屋製品] 45点

番号	名称	点数	説明
1	筋	1	着物。
2	格子	1	〃

番号	名称	点数	説明
3	唐機	1	〃
4	子持縞	1	〃
5	格子タテジマ	1	〃
6	ハナレタテジマ	1	〃
7	盲縞	1	〃
8	ベンケイゴウシ	1	蒲団ガワ。
9	唐機	1	着物。
10	カスレヨコジマ	1	〃
11	ヨコジマ	1	〃
12	微塵縞	1	〃
13	ベンケイガラ	1	〃
14	タテジマゴウシ	1	〃
15	子持縞	1	〃
16	筋	1	〃
17	格子	1	蒲団ガワ。
18	カスレジマ	1	着物。
19	カツオ	1	着物。
20	盲縞	1	〃
21	微鹿縞	1	蒲団ガワ、着物。
22	ムジ	1	着物。
23	棒縞	1	〃
24	カスリヨコジマ	1	〃
25	ヨコジマ	1	〃
26～27	タテジマ	2	〃
28	子持縞	1	〃
29	ベンケイゴウシ	1	蒲団ガワ。
30	唐機	1	着物。
31	万筋	1	〃
32	ヨコジマ	1	〃
33	タテジマ	1	〃
34	子持縞	1	〃
35	ヨコジマ	1	〃
36	万筋縞	1	〃
37	ミダレガスリ	1	〃
38	シモフリ	1	〃
39	カスリ格子	1	〃
40	末広とうぐいすと梅	1	〃

番号	名称	点数	説明
41	重ね枳	1	蒲団。
42	格子	1	着物。
43	格子と菱	1	蒲団ガワ。
44	エガスリ	1	着物。
45	蚊張地	1	蚊張。

[紺屋用具] 338点

番号	名称	点数	説明
1～3	アイガメ	3	あい玉を入れる。
4～5	アイツボ	2	アイ染用。
6	アイウス	1	アイをつく。
7	キネ	1	〃
8	ゴウス	1	色止めゴジル引き。
9	ヒキウス (ネバリウス)	1	餅米を細く挽く。
10	オケ	1	染めた小物の水洗。
11	タネイト	1	絵ガスリ用。
12	藍染めの生糸	1	ししゅう。
13～133	カタガミ	121	池染、小紋、松竹梅、宝くずし、絵餅、糸目笹など。
134～137	ケタ (絹用)	4 対	染めた布を干す。
138	ケタ (幅の広い反物用)	1	〃
139	ケタと布	1	〃
140	カタイタ (カタツケイタ)	1	ノリをつけ染料をとかす。
141～143	ハケ	3	ノリをはく。
144	フナベラ	1	細やかな調整。
145	マルベラ	1	型紙をはりつける。
146	ヘラ	1	縫紋の絹うつし。
147	ヘラ (コマベラ)	1	染料をのばす。
148	ノバシヘラ (デバベラ)	1	のりをねる。
149	タンポ	1	型紙の上からこする。
150～152	ヒノシ	3	布をのす。
153～154	ヤキベラ	2	着物のヘラつけ、紙や布に印をつける。
155～255	モンカタガミ	101	オニカシワ、丸立四目、ニツ割り菊、九分の丸、抱いねなど
256	アテコ	1	紋をつける。
257	モンロウ	1	布にロウをひく。
258～261	モンロウ (ロウセキ)	4	紋型紙をおさえる。
262～263	シカのツノ	2	ロウをひく、文型をはりつける。
264	ブンマワシ	1	紋型紙に円を書く。
265	イトキリバサミ	1	縫紋の糸切り。
266	キガミソリ	1	櫛材カミソリ。
267	ジョウギ	1	面取りをする。
268	モンカタキリのダイ	1	紋型作り用。
269	ワク (ヌイモンヨウ)	1 組	縫紋用布をはさむ。
270	モンコテ	1	紋の火のし。
271～274	コテ (ヤキゴテ)	4	布の火のし。

番号	名称	点数	説明
275～279	イロトキザラ	5	紋の染料を調合。
280	モンのセンリョウいれ	1	ガラスビン。
281～291	ヌイモンイト (黄、アサギ、黒紫など)	41	ししゅう。
292	ヌイモンバリとツツミガミ	1	鋼材製針。
293	アオゾリツツミガミ	2	渋紙。
294	ヒツ	1	衣類入れ。
295～298	ウワエダンス	4	紋の道具入れ。
299～302	フミバコ	4	文書入れ。
303～304	スズリ	2	紋を書く時使用。
305	ミズサシ	1	硯の水をさす。
306～307	ブンチン	2	紋書きのおさえ、型紙をおさえる。

[紺屋製品] 23点

番号	名称	点数	説明
1～2	羽織	2	絹をあい染め、絹を黒に染め三ツ柏紋。
3	モンペ	1	絹を黒に染め。
4	単衣 (ムジ)	1	絹をあい染め。
5	袴 (センダイヒラ)	1	木綿の糸染め。
6～7	浴衣地 (ベンケイジマ) タテジマ	2	〃、木綿の型染め。
8	カスリ	1	種糸取り。
9～12	エガスリ	4	木綿、麻の型染め、種糸どり (鶴亀)。
13	キヌジのモンツキバオリ	1	あい染、式服。
14～15	エクマ (ヒキマク)	2	木綿地かき染め。
16	ノボリのフトン	1	木綿地ひき染め。
17	タンゴのノボリ (布端)	1	〃 かき染め。
18	タンゴのノボリ	1	〃
19	マツリのノボリ	1	〃
20～21	ノボリ	2	木綿地のかき染め。
22	ユカタ (シボリ)	2	シボリ染め。

[醤油屋用具] 254点

番号	名称	点数	説明
1	二斗八升桶	1	大豆を入れる。
2～5	研ぎ桶	4	大豆、麦をとぐ。
6～7	米研ぎ	2	〃
8～11	ニナイ桶	4	水を汲む。
12～14	手桶	3	醤油、諸味を汲む。
15～22	かし桶	8	原料を洗ってかす。
23～28	シタミ	6	水を切る。
29	ソオーケ	1	水を切り釜に入れる時。
30～32	蒸籠 (コシキ)	3	麦、大豆を蒸す。
33～34	大釜	2	コシキ用。
35	〃 (コシキ用)	1	〃
36	釜	1	湯をわかす。
37	カマワ	1	蒸気もれを防ぐ。
38	炒り鍋	1	原料を炒る。
39～42	大杓	4	諸味、醤油を汲む。
43～45	大杓子	3	煮る時混ぜる。
46	杓子	1	炒る時混ぜる。
47	玉杓子	1	煮る時にすくう。
48	栈板	1	桶をおく。
49～54	モロブタ	27	諸味、麴をいれる。
55	麴用モロブタ	9	種麴を入れる。
56～57	モロブタのサンギ	16	モロブタを重ねる時間に入れる。
58～59	諸味棚	2	諸味を醗酵さす。
60～64	暖気樽	5	ムロで麴の保温用。
65～66	諸味籠	2	諸味を六尺桶に運ぶ。
67～68	オウコ	2	天秤棒
69～71	醤油ダテ	3	諸味をこす。
72～106	六尺桶	35	諸味をしこむ。
107	三尺八寸桶	1	〃
108	四尺一寸	1	〃
109	四尺三寸	1	〃
110～113	カイ	17	諸味を攪拌する。
114	カスリ	1	麦、大豆を搦いとる。
115～117	諸味の汲み桶	3	諸味を袋に入れる。
118	シメギ	1	醤油を搾る。
119	搾り木	1	〃

番号	名称	点数	説明
120～123	搾り船	4	諸味を搾る。
124～125	搾り船の棧板	2	〃
126	棧木	1	〃
127～134	バンギ (シメギ)	8	〃
135～139	搾り袋	28	諸味を入れる。
140	ヒアテ釜	1	煮沸する。
141	杓	1	水、醤油を汲む。
142	汲み杓	1	諸味、醤油を汲む。
143～147	澄まし桶	5	醤油を澄ます。
148～149	漏斗	2	醤油を樽瓶につめる。
150～151	三尺八寸桶	2	醤油を汲み入れる。
152	四尺桶	1	醤油の貯蔵、出荷用。
153	四尺六寸桶	1	〃
154	三升樽	1	醤油の出荷用。
155～158	五升樽	4	〃
159～169	四斗樽	11	〃
170～171	味噌桶	2	味噌貯蔵用。
172	ウマ (キウマ)	1	モロブタを乗せる台。
173～174	キャタツ (フミダイ)	2	踏台。
175	梯子	1	高所の作業。

[瓦屋用具] 45点

番号	名称	点数	説明
1～4	瓦の切型 (受型)	4	平瓦の型。
5～6	風切り瓦の切型	2	風切り (屋根のハシ)。
7	地瓦の切型	1	地瓦 (一瓦の一種)。
8	平瓦の切型	1	平瓦。
9	練塀瓦の切型	1	練塀瓦。
10～11	大熨の切型	2	大熨。
12	大面のノミ型	1	大面。
13～16	カラクサのケン型 (軒ヒラガワラ)	4	軒平瓦の唐草の型。
17	ジイタ (ナカヌキ)	2	鬼瓦の中の粘土をくりぬく。
18	ジイタ	5	鬼瓦を作る台。
19	イチマイイタのアラジのジョウギ	1	タタラを作る。
20	ロクロのダイ (台)	1	切型、受型をのせて成形。
21	ナカエゴテ	1	アラジを切型の曲面に仕上げる。
22	モトゴテ	1	切型の曲面仕上。
23	フナグワ	1	粘土の切り返し。
24～25	タタキ	2	アラジくを切型で成形。
26～27	五分のカナベラ	2	鬼瓦の成形。
28～29	ヒモミガキベラ	2	巴、円形の側面をみがく。
30～31	シナイベラ	2	巴のアラジのみがき。
32～33	メントリベラ	2	仕上げのメントリ。
34	カキヤブリ	1	キズをつけ接合させる。
35	メッケ	1	タタラ切断の寸法いれ。
36	セギ	1 対	メッケのおさえ。
37	コビキ	1	タタラを切る。
38	キリガマ	1	切型の外面を整える。
39	ヒバシ	1	焼いた瓦を出す。
40	昼飯オケ (ベントウオケ)	1	